令和４年度　　第７回　杉森中学校学校学校運営協議会議事録

学校名　　　杉森中学校
記録者　　　大谷真雄

開催日時	令和４年11月１日(水) 16:30～18:00
開催場所	杉森中　　北校舎２階　　会議室
出席者	岡田会長、村上会長職務代理、小川委員、朝枝委員、小川委員、佐久間委員、国藤委員、西野委員 三箇山委員、佐々木校長
欠席者	狩野委員
学校側	豊嶋主任教諭

会議内容

1. 生徒会との意見交換(16:30-16:50)
   生徒会出席者：生徒会会長、副会長、委員　６名
   　生徒たちの声をじかに聞き、生徒たちの要望を生かしていく試みのスタートとして、今回はまず顔合わせを行った。
2. 会長挨拶
   ①合唱コンクールは素晴らしかった。43回目でもあり、全員参加でよかった
   ②不登校、いじめ等増加しているとの全国調査結果が発表されている。コロナの影響も指摘されており、注視していきたい。
3. 佐々木校長挨拶
   ①合唱コンクールは１年から３年生全員で協力してできた、生徒たちが自分たちで改善を図って、良いものにしていった。しかし、マスクをしているので、楽しいく明るい表情が見られないことが残念
   ②吹奏楽は３年生の引退演奏もあり、とてもよかった。特に今年は声掛けをしていいこととしたので、よかった
   ③10月11日に日本フィル団員による弦楽四重奏の演奏会を６年ぶりに体育室で全員で聴くことが出来とてもよかった。
   ④11月22日に自転車安全利用講習会を開催予定

   その他、合唱コンクールを見学した委員から感想が述べられた
4. 検討事項
   ①　生徒会との意見交換について
   　.来年1.2月を目標に具体的な意見交換を実施予定
   　生徒会の活動予定が出来るので、その内容を聞いて次回検討し、CS委員がサポートするものを決めていく
   　あくまで、生徒主体で学校生活を豊かにすることを目的とする

CS 委員からの意見

生徒会の目的は何か、生徒会に決定権はあるのか

挨拶運動や給食時に音楽を聴けるようにするなど。身の回りの環境改善に取り組んでいる。できるだけ生徒の自主性を尊重していく。

生徒会はどんなことができるのか

目安箱(生徒会)から生徒の意見を集めて実現している

生徒会の継続性はあるのか

秋に２年と１年が選出されるが、翌年は２年に上がった経験者が引き続き役員を務めるなどで、継続性が保たれている。選挙方法もいろいろとある

②教職員との意見交換、「学年担当」について

村上会長職務代理から、日程調整中である旨の報告があり、了承された

会長からは来年 1～3 月くらいに試運転的なことを実施して、4 月から本格的に開始したいという予定が示された

５,報告事項

岡田会長より杉並区学校運営協議会連絡会の実績報告があった

白石教育長から、「子供たちに考えさせ、子供たちを尊重していく教育を推進していく。昭和世代の指導層の考え方の変革も必要となってくる。中学校の構想句の変更などの見直しもお願いしている。小中連携を CS レベルでも進めていってほしい」との話があった。

杉森、馬橋、杉一との合同会議開催予定している

CS 委員から意見

. 区長交代での影響はあるのか

中高一貫の必要性とは何か、“中一の壁”はなくしたい

中学へあがるときにある程度準備期間を取ってほしい

CS 合同会は子供主体で考えて欲しい。

学校支援本部　報告（西野委員）

１１月２日、４日　英検　第二次面接練習を行う

１１月１２日は、数検。

６,管理職の任用について（審議事項）

校長、副校長の来年度の任用に関して、協議会としての意見集約を行った。